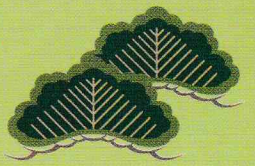


NOHGAKU DAIRENGIN 2017

能謡合唱団

謡でつなげる、にっぽんのこころ



こんにちは! みなさんは能の「謡(うたい)」をご存知ですか?
 伝統芸能である能の音楽や物語を司るもので、長い歴史と独特の美しさ、奥深さを持っています。
 能楽大連吟(のうがくだいれんぎん)は「謡」を通して古き良き日本文化を知ると共に、世代を超えた多くの人との「合唱」によってコミュニケーションの輪を広げようという新たな試みです。
 プロの能楽師による3ヶ月間のレッスンの後、参加者みなで能の舞台に立ちます。謡独自の発声法を身につけることで、伸びやかな声になり、まっすぐな美しい姿勢も身につきます。
 2008年から始まった能楽大連吟、今年で10年目です。
 毎年恒例の行事になる事を目指して、京都から発信しています。



2013年大連吟 (百万遍智恵寺)

「高砂」。

世界中の平和と幸福を祈って、共に「高砂」を謡いましょう!

2017年の終わりに、遠く旅立つ友人のために、古くから夫婦愛と長寿を祈って、結婚式などで謡い伝えられてきた「高砂」。

演出 高砂

観世流、金剛流、どっちも選ぶ?

金剛流 金剛(坂戸座)

- 流祖 坂戸孫太郎
- 宗家所在地 京都
- 京都での道場 金剛能楽堂
- 象徴文様 金剛雲、九曜星
- 謡の特徴 素朴で低音域が多く、渋い感じがある

観世流 観世(結崎座)

- 流祖 観阿弥、世阿弥
- 宗家所在地 東京
- 京都での道場 京都観世会館
- 象徴文様 観世水、槍雲、千鳥
- 謡の特徴 スタイリッシュで高音域が多く、華やかな感じがある

※上記は一部の方々による恣意的な見解が含まれております。※それぞれ参加費が必要です。

金剛流 講師紹介



宇高 竜成 TATSUSHIGE UDAKA
 1981年生まれ。金剛流能楽師の父・通成の影響で3歳の頃に初舞台を踏む。先代・当代の金剛宗家に師事し、プロの能楽師となる。国内ではもちろんの事、海外でも数多くの舞台活動・ワークショップやコラボレーションなどを通じて能楽の普及に務めている。一度のめり込むと、とことん追求するオタク気質。



宇高 徳成 NORISHIGE UDAKA
 1985年生まれ。金剛流能楽師の父・通成の次男。幼少より舞台に立ち、当代金剛宗家に師事。プロの能楽師になり能の舞台活動のほかに能楽普及を務める。おっとりした性格で、金剛流を代表する癒しキャラ。多趣味。



山田 伊純 ISUMI YAMADA
 1989年生まれ。金剛流師範の家に生まれ、6歳にて初舞台。大学卒業後、金剛流宗家のもと内弟子修業を経て2016年に独立。金剛永護師に師事。舞台の傍ら、能楽の普及にも努める。若年寄りの異名を持ち、趣味は革靴の手入れと庭いじり。

観世流 講師紹介



深野 貴彦 TAKAHIKO FUKANO
 1973年生まれ。観世流能楽師・深野新次郎に稽古を受け、3歳にて初舞台。故浦田保利師に師事し、2001年独立、現在浦田保浩師に師事。東映で劇中能の演出・振付をするなど新たな分野に挑戦しながらも若手NO.1の技能をもつ硬派能楽師。



松野 浩行 HIROYUKI MATSUNO
 1974年生まれ。幼少に祖父故松野良輝より指導を受ける。1994年より十三世林喜右衛門師に師事し、2001年独立。斬新な切り口とわかりやすい表現で能の普及に努める。明るく素直な性格でいつもその場のムードメーカー。若手NO.1の臨機応変さを備え持つ能楽師。



宮本 茂樹 SHIGEKI MIYAMOTO
 1975年生まれ。1996年より七世大江又三郎師に師事し、2003年独立。違う分野の芸術家との交流も多く、幅広い手法を使いながら一般の人々に能楽を広める努力を続けている。若手NO.1のネットワークと鋭い分析力をもつ能楽師。



齊藤 信輔 SHINSUKE SAITO
 1976年生まれ。幼少の頃より、父 観世流能楽師・齊藤信隆に稽古を受け、4歳で仕舞「養老」で初舞台。1994年より大槻文藏師に師事し、2004年独立。強面ながらも優しさと包容力を併せ持つ、ギャップの激しい男である。大阪の能楽師。



今村 哲朗 TETSUROU IMAMURA
 1981年生まれ。幼少の頃より、父 観世流能楽師・今村嘉伸より稽古を受け3歳にて初舞台。大学卒業後大西智久師に師事し、2010年に独立。能楽の普及のワークショップやレクチャーを積極的に行う。風貌と体格により、年長者にも間違えられる九州出身の能楽師。